

# も 遠足で魚釣り挑戦 高千穂 押方小

高千穂町・押方小(草薙良雄校長、48人)の6年生14人は、校区内の跡取川集落を散策する遠足をこのほど行った。川で魚釣りに挑戦し、住民手作りの地元食材を使った昼食に舌鼓を打つなど、古里の魅力を肌で感じていた。

遠足はこの時期の恒例行事で、住民や西臼杵漁協高千穂支部、押方地区の建設業者が協力。晴天の下、児童は同校から徒歩で集落に向かった。

到着後、集落内を流れる跡取川でヤマメ50匹を放流。続

けて川をせき止めた特製池にニジマス100匹を放流し、釣りに挑戦した。児童たちは釣れるたびに差顔を浮かべ、中には川に入ってはしゃぐ姿も見られた。

その後、近くの甲斐菜(さ

んじ)方へ。敷地内に甲斐菜の手造りの水車小屋があり、児童たちは発電や精米する装置などを興味深そうに見学していた。昼食では家に上がり、地元女性が作った夕ヶノゴずしやシシ肉の煮込みなど



遠足でニジマス釣り挑戦する押方小6年児童

を頬張った。

ニジマスを3匹釣り、川遊びも楽しんだ甲斐玲英君(11)は「魚から針を外す時が面白

かった。川の水は冷たくて、とても気持ち良かった」と話していた。